

# 《彙報》

【千葉大学文学部日本文化学会記録】

第二回大会（二〇二一年九月一八日 ZOOMによるオンライン開催）

〈研究発表〉

夏目漱石の小説における主人公について——『三四郎』を中心に——

西行の「十楽歌」をめぐる——同時代歌人との比較を通じて——

〈講演〉

アイヌ文化の現在

人文公共学府博士前期課程 和泉 朱音氏  
人文公共学府博士後期課程 羅 杰彬氏  
千葉大学文学部名誉教授 中川 裕氏

【二〇二二年度 千葉大学大学院人文公共学府 博士論文題目】

周 希瑜 日本中国占領地における文学と記憶

【二〇二二年度 千葉大学大学院人文社会科学学研究所 修士論文題目】

安井麻里子 曲亭馬琴の作品における「大内之助」世界の研究

【二〇二二年度 千葉大学大学院人文公共学府 修士論文題目】

阿部 沙織 枕詞研究——万葉集から八代集へ——

和泉 朱音 夏目漱石における主人公について——同時代受容を中心に——

佐藤 萌衣 並列助詞「や」「やら」「とか」「だの」に関する研究

高橋 美裕 『古今和歌集』仮名序の英訳に関する研究

【二〇二二年度 千葉大学文学部日本文化学科 卒業論文題目】

菊地 敬仁 ラフカディオ・ハーンと『古事記』——*Glimpses of Unfamiliar Japan* Chapter8, Kitazuki: The Most Ancient Shrine

【二〇二二年度 千葉大学文学部人文学科日本・ユーラシア文化コース 卒業論文題目】

- 合川 渚 現代社会における食パンのあり方とその特徴
- 稲川 陽 作家・赤川次郎の在り方を考える——『マリオネットの罫』を通して——
- 大木 佳穂 和歌表現からみる無常観——古代を中心に——
- 奥田 彩 江戸語から明治東京語への文末表現の変遷
- 奥山森太郎 日本人の酒離れに関する研究
- 春日 了 夏目漱石『彼岸過迄』の「新聞小説」的意義
- 加門ひかる 富山県の名産品「鱒寿司」に関する社会文化的考察——歴史・変化・存続のための模索——
- 久保園由梨 『栄花物語』における藤原顕光像
- 倉島 泰地 「痴人の愛」における支配欲について
- 栗原 信吾 なぜ方相氏は追われることとなったのか——古代における鬼の一形態——
- 坂本 芹佳 緑茶の海外での利用——緑茶文化圏内外での有糖・無糖の実態——
- 笹森三理子 現代若者の間における外来菓子「ケーキ」についての研究
- 下清水久瑠美 石川達三「生きてゐる兵隊」から「武漢作戦」への変化
- 清水 咲帆 ビジネス用語の許容度についての研究
- 工 実香 日本語と韓国語の「断り」における理由表明の比較——理由表明の内容とその反応に焦点をあてて——
- 田中海夏人 十返舎一九は弥次郎兵衛に自己を投影しているのか——その共通点を比較して——
- 角田 侑紀 古代日本における病——『万葉集』と六国史からみる——
- 角森 士龍 役割語を通して考える『三国志』登場人物のキャラクター化——張飛を中心とした役割語的特徴の分析——
- 中嶋 彩 動物園の地域社会での役割——千葉市動物公園の屠体給餌から見える動物園と地域社会のかかわり——
- 中西 峻 説話からよみとく儒教思想
- 庭野ほのか 動詞に接続する接頭辞について——音便化したものを対象に——
- 飛田 晴彦 樺太でヤイレスポと呼ばれる人文神について

藤田 悦子 太宰治「女生徒」論——「私」の人物像の考察を中心に——

布施 舞子 歌舞伎における魅力的な悪役の描かれ方——鶴屋南北「東海道四谷怪談」を中心に——

皆本 凌佑 あめわかひこ像の考察——そのイメージの変容——

美濃島寿咲 埼玉県の方言における「ようだ」の用法

矢沢 果鈴 『方丈記』における無常観——災厄の描写から——

山本真奈圭 湊かなえ『往復書簡』論——湊作品における立ち位置についての考察——

吉村はなの 現代日本語におけるファイラー研究——「打ちことば」に見られる「ファイラー」を通じた文字で書かれる「ファイラー」

分析——

渡部 文 古代における温泉観——道後温泉を中心に——

渡部 萌映 江戸の料理本考——『豆腐百珍』を中心に——